



Investing | 2013年 04月 09日 19:54 JST

## UPDATE2: 福島第1原発汚染水漏えい、移送先タンクでも 高濃度放射能検出 = 東電<9501.T>

\*会見でのコメントなど追加

【東京 9日 ロイター】 東京電力(9501.T)は9日、福島第1原子力発電所の地下貯水槽から放射性物質に汚染された水が漏れていた問題で、移送先の貯水槽から新たに汚染水が漏えいし、高濃度の放射能を検出したと発表した。東電は同日、移送を停止した。

福島第1では、汚染水漏れがあった第2地下貯水槽の水を第1地下貯水槽に移送中だったが、第1貯水槽の最外周シートの内側で通常より高い塩分濃度を検出したため、9日午後零時47分に移送を停止。東電と原子力規制庁は同日夕、同シートを分析した結果、1立方センチ当たり1万ベクレルの放射性物質が検出されたと明らかにした。

東電は6日未明、地下貯水槽からの漏えいを発表。8日には広瀬直己社長が茂木敏充経済産業相を訪ね、1)第2貯水槽の水は第1と第6に移送、2)第3の水は水位を低下させる—などの緊急対策をまとめたばかり。今回、移送先の汚染水漏れを受けて9日に緊急会見した東電原子力・立地本部の尾野昌之本部長代理は「地下貯水槽の信頼性が落ちていることは反論のしようがない」と弁明した上で、漏えいの原因については遮水シートに穴が開いた状態の可能性を挙げながら、「まだどうこう言えない」と話した。

当面の対策としては尾野氏は「いまの優先は第1、第2地下貯水槽の水をすべて他に移送して使用停止すること。7つある(地下貯水槽の)うち、使っていない第5、第6も使うことを検討する」などと説明した。福島第1原発の汚染水の総貯水量は約34万7000トンだが、すでに84%が埋まっている。2013年度上期中に12万6トン分の地上タンクを増設する計画だったが、中長期の対策として増設の前倒しを急ぐとしている。

(ロイターニュース、浜田健太郎 月森修; 編集 吉瀬邦彦)

大和証券ではじめよう! 公的な取引所 F X < くりっく 3 6 5 > / 手数料 0 円

### おすすめ記事

- 【中国の視点】自動車業界: 戦国時代に突入、5割以上のメーカーは消える 2016年 04月 07日
- サイバー対策改正法成立 2016年 04月 15日
- ブーチン大統領、パナマ文書は「挑発」と一蹴 国民対話で 2016年 04月 15日

欧州の視点でマーケットの本質を読み解く

サクソバンクのエッセンシャルトレード

<2016年第2四半期版>

渦巻く極論  
~社会契約の崩壊

アメリカと世界の経済成長にはドル安が必要  
外国為替のボラティリティが高まることは間違いない  
トランプ大統領が登壇したら、アメリカと米ドルに何が起こるのか  
株式市場: 売られ過ぎ後のリバウンド  
個別銘柄で期待できそうなのは...

詳細なレポートはこちらから ▶

SAXO BANK サクソバンク証券株式会社

参加する

#### 円高阻止の条件

これ以上の円高はアベノミクスの変容を招くため、次回の日銀会合は円高転換のきっかけとなる可能性がある。とA Bの村上尚己氏は指摘。記事の全文



#### 中国は最悪期脱したか

3月の景気底入れを演出した公共投資と不動産投資が、息の長い景気回復要因となるかは不透明だと第一生命経済研の西濱徹氏は指摘。記事の全文



ドル105円割れ前倒しも = 内田稔氏

投機主導の円高は短命 = 鈴木健吾氏

電池やEVで大相場も = 木野内崇治氏